

## 中国外相、麻生外相と会談...李登輝氏来日を懸念

【ハンブルク = 松永宏朗】アジア欧州会議(ASEM)外相会議に出席するため、ドイツを訪問している麻生外相は28日午前(日本時間28日夕)、ハンブルク市内のホテルで中国の楊潔チ外相と会談し、4月の日中首脳会談での合意などを生かして、日中関係をさらに発展させていくことを確認した。

楊外相は、台湾の李登輝・前総統が近く来日することについて、「適切に処理することが日中関係の安定にとって大事な基本政策だ。政治的色彩をおびて両国関係の発展を阻害する」と懸念を伝えた。麻生外相は「今回の(李氏の)訪日は観光旅行および学術交流で、政治活動ではない」と理解を求めた。

4月に就任した楊外相との日中外相会談は初めて。両外相は北朝鮮の核問題、拉致問題で、両国が緊密に協力することも確認した。

麻生外相は、安倍首相が地球温暖化問題について、世界の温室効果ガスの排出量を2050年までに半減させることなどを柱とした基本戦略「美しい星50」を提唱したことを説明。6月中に東京で環境問題に関する次官級協議を行う意向を伝えた。楊外相は「積極的に考えたい」と応じた。

(「楊潔チ」の「チ」は竹かんむりに「褌」のつくり)

(2007年5月28日23時36分 読売新聞)

<http://www.yomiuri.co.jp/politics/news/20070528ia26.htm>